

秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業

事業計画書

認可	平成28年 3月 1日	公 告	平成28年 3月 7日
第1回変更	平成30年10月 1日	公 告	平成30年10月 5日
第2回変更	——	公 告	令和 2年 7月 9日
第3回変更	令和 6年11月 5日	公 告	令和 6年11月15日

あ き る 野 市

変更理由

土地利用計画の変更

- ・ 車両用の導線の確保のため、北側の計画道路について歩行者専用道路から区画道路への変更を行う。
- ・ 駅前広場のうち鉄道事業者所有地を宅地に変更する。

資金計画の変更

- ・ 過年度の事業収支の反映と、今後の事業予定に合わせ、事業費及び年度別歳入歳出計画を変更する。

施行期間の変更

- ・ 施行計画の見直し及び清算期間の考慮により、事業終了を令和14年9月に変更する。

目 次

第1 土地区画整理事業の名称等	1
(1) 土地区画整理事業の名称	1
(2) 施行者の名称	1
第2 施行地区	1
(1) 施行地区の位置	1
(2) 施行地区位置図	1
(3) 施行地区の区域	1
(4) 施行地区区域図	2
第3 設計の概要	2
1. 設計説明書	2
(1) 土地区画整理事業の目的	2
(2) 施行地区内の土地の現況	2
(3) 設計の方針	4
(4) 整理施行前後の地積	6
(イ) 土地の種目別施行前後対照表	6
(ロ) 減歩率計算表	8

(5) 保留地の予定地積.....	8
(6) 公共施設整備改善の方針.....	8
(イ) 首都圏整備計画との関連.....	8
(ロ) 都市計画との関連.....	9
(ハ) 都市計画道路の整備.....	10
(ニ) 区画道路の整備.....	10
(ホ) 特殊道路の整備.....	10
(ヘ) 公園の整備.....	10
(ト) 水路及び排水施設の整備.....	10
(チ) 公共施設整備計画.....	11
(7) 土地区画整理法第2条第2項に規定する事業の概要.....	12
2. 設計図.....	12
第4 事業施行期間.....	12
第5 資金計画書.....	13
1. 収入.....	13
2. 支出.....	14
3. 年度別歳入歳出資金計画表.....	16

秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業 事業計画

第1 土地区画整理事業の名称等

- (1) 土地区画整理事業の名称
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業
- (2) 施行者の名称
あきる野市

第2 施行地区

- (1) 施行地区の位置
本地区は、都心から西方約4.5km、周辺を河川と丘陵・山岳で囲まれた平坦な「秋留台地」の中央部に位置し、首都圏中央連絡自動車道日の出インターチェンジの西方約1.6km、JR五日市線武蔵引田駅北側にある。
東側に秋多都市計画道路3・4・13号引田平井線（市道I-18号線）、西側に市道伊奈-96号線、南側にJR五日市線、北側に都道165号伊奈・福生線（一部秋多都市計画道路3・4・5号平沢平井線）により囲まれた、東西約0.7km、南北約0.3kmの長方形に近い面積約19.5haの区域であり、市の総合計画後期基本計画では産業系複合市街地の形成を図る地区に位置付けられた地区である。
- (2) 施行地区位置図
「別添図面のとおり」
- (3) 施行地区の区域
本地区の区域は、あきる野市引田字阿岐野、字櫻ノ岡及び伊奈字引田ノ上の各一部である。

(4) 施行地区区域図
「別添図面のとおり」

第3 設計の概要

1. 設計説明書

(1) 土地区画整理事業の目的

本地区は、平成7年に秋川市と五日市町が合併し「あきる野市」が誕生したことにより市の中心部となった。平成14年、首都圏中央連絡自動車道日の出インターチェンジ開業により交通利便性が向上し、平成19年、三吉野桜木地区（組合区画整理）にイオンモール日の出が開業するなど、本地区の周辺開発が進んでいる。このため、平成23年に策定したあきる野市都市計画マスタープランにおいて、産業の活性化と良好な居住環境の創出を図るため、業務地、商業地、住宅地、農地がバランスよく配置された産業系複合市街地の整備を進めることが位置付けられた。

武蔵引田駅は多くの市民が利用する市の主要な駅であるが、駅周辺は都市基盤が未整備となっているため、生活利便施設等の立地など、駅が本来有する機能の集積が立ち遅れている。また、本地区は圏央道日の出インターチェンジに近接し、産業系企業の立地が可能であるが、そのポテンシャルを活かし切れていない。

この地区の特徴を活かすため、政策誘導的に、市施行による土地区画整理事業を実施し、駅前広場、道路や公園など公共施設の整備改善を行う。

本事業は、これまで主に農地として利用されてきた土地について、職住近接による住・商・工・農のバランスの取れた利便性の高い複合型市街地への転換を図り、計画的な土地利用転換を推進することを目的とする。

(2) 施行地区内の土地の現況

本地区は秋留台地の中心部にあり、これまで畑作を中心とした農耕が行われてきた。平成27年3月まで市街化調整区域であったことから、昭和40年代に行われた宅地開発以外、新たな宅地利用はほとんど見られない状況である。

①地区内人口・人口密度

地区内には、住宅家屋が108棟あり、居住人口は約204人、人口密度は約10人/haである。

②土地利用状況

本地区の北東部に昭和40年代に行われた住宅開発、駅周辺に一部店舗、住宅、駐車場及び駐輪場が点在している。北側の都道沿いの一部では、工場跡地を利用した住宅地開発が行われているが、その他は農地が大半を占めている。

登記簿では、農地 85%、宅地 8%、雑種地 2%、公衆用道路 5%となっている。

③道路・公園の状況

本地区の東側にある秋多都市計画道路 3・4・13 号引田平井線（市道 I-18 号線）の現道西側は用地買収が行われていないが、現道東側は用地買収がほぼ完了している。地区北側の都道 165 号伊奈福生線（一部秋多都市計画道路 3・4・5 号平沢線）は幅員 18m で整備が完了しており、その他の道路は開発行為の道路を除き、ほとんどが幅員 3m 未満である。なお、地区内には、公園は一か所も整備されていない。

④建物の高度化の傾向

ほとんどの建物は 1～2 階建であり、高度化の傾向はない。

⑤地 勢

地形は、際立った起伏はなく、西から東に向けて約 1% のなだらかな傾斜があり、地区の最高点は北西部端都道沿いで 175.4m、最低点は東側市道 I-18 号線踏切から北に約 100m 地点で 169.1m である。地層は大部分の表層が関東ローム層（赤土層）に覆われており、その下にはレキ層が堆積している。

⑥水路の状況

地区内には水路は存在しない。

⑦上下水道・ガス等供給処理施設の現況

上水道は全戸に供給されているが、都市ガスが未供給でありプロパンガスが使われている。また、下水道は汚水、雨水ともに整備されていない。

⑧公益施設の状況

地区外南東部に JR 五日市線武蔵引田駅、地区外東部には、公立阿伎留医療センターがある。

⑨工場の立地状況

地区内には工場は存在しない。

⑩学校等文教施設の状況

地区内に小学校、中学校の教育施設はなく、学校区は、小学校はあきる野市立一の谷小学校、同増戸小学校、中学校はあきる野市立西中学校、同増戸中学校に属している。

(3) 設計の方針

本地区は、市の中心地にふさわしい「利便性の高い複合型市街地」を形成することを目的とし、本事業において都市基盤の整備を次のような方針により設計する。

①土地利用計画

秋多都市計画道路3・4・13号引田平井線、都道165号伊奈福生線（一部秋多都市計画道路3・4・5号平沢平井線）及び秋多都市計画道路3・4・18号武蔵引田駅北口線（駅前広場を含む）沿道については、沿道利用に配慮した土地利用を図り、居住者の生活利便に資する施設の立地を誘導する。また、農住混在の防止を図りつつ営農環境を維持できる農地の集約化を誘導するとともに、良好な住環境を確保できる低層低密の住宅地を配置する。地区内北西部には、日の出インターチェンジに近接した利便性を活かし、産業系企業を誘致するため、産業系業務地を配置する。さらに、武蔵引田駅周辺には、駅利用者の利便性の向上や日常生活を支える施設の集積を図るため、商業地を配置する。

②人口計画

人口計画は、計画人口約1,000人、人口密度約74人/haとして計画する。

③公共施設計画

地区内の道路は、適正な交通分担を図るべく、都市計画道路、区画道路、特殊道路とする。

都市計画道路は、安全で円滑な交通処理並びに沿道環境の保全を図るため、秋多都市計画道路3・4・18号武蔵引田駅北口線（駅前広場を含む）を整備する。秋多都市計画道路3・4・13号引田平井線については、JR五日市線との交差部が道路オーバーで計画されているが、武蔵引田駅南口の市街地整備事業に合わせ整備することとし、本事業では平面暫定整備する。また、都市計画道路3・4・18号武蔵引田駅北口線（駅前広場を含む）には、電線共同溝を整備する。

区画道路は、都市計画道路を補完し、良好な住環境を創出するため東西補助幹線道路を整備するほか、地区内の土地利用計画に合わせて整備する。

特殊道路は、歩行者の利便性に配慮し、歩行者専用道路として適宜整備する。

公園については、住居系エリアに整備し、歩道によってネットワークを形成する。

④供給処理施設の設計

上水道は、東京都水道局より全戸に供給されており、既設管については道路計画に合わせ本事業で移設する。新設管については、管理者と協議の上、事業の進捗に合わせて敷設する。

下水道については、雨水、汚水とも未整備であるため、本事業の進捗に合わせて整備する。雨水は下流管が未整備なため、地区内の幹線道路に貯留浸透施設を設置する。汚水は別事業として市が整備する。

また、電気及びガス・電話についても、各事業者と協議の上、新設及び移設を行う。

⑤公益施設の整備計画

学校は、本地区が含まれる近隣住区において充足されているため新設しない。

⑥建築物整備計画

地区計画の導入を図り、景観の維持に努めつつ調和のとれた快適なまち並みを創出する。

(4) 整理施行前後の地積

(イ) 土地の種目別施行前後対照表

種 目		施 行 前			施 行 後		備 考	
		地積(m ²)	割合(%)	筆数	地積(m ²)	割合(%)		
公共用地	地方公共団体 所有地	道 路	14,033.41	7.20	89	44,173.98	22.67	
		駅 前 広 場	—	—	—	2,770.07	1.42	
		公 園	—	—	—	6,000.79	3.08	
		計	14,033.41	7.20	89	52,944.84	27.17	
	公 共 用 地 計	14,033.41	7.20	89	52,944.84	27.17		
宅地	民有地	畑	143,638.80	73.72	322	128,902.00	66.16	駅前広場に供する 鉄道用地 170 m ² を含む
		宅 地	15,532.54	7.97	128			
		公 衆 用 道 路	906.21	0.47	18			
		雑 種 地	1,685.00	0.87	6			
		鉄 道 用 地	769.21	0.39	11			
		計	162,531.76	83.42	485			

宅地	公有地	国有地	687.66	0.35	3		
		市有地	16,012.00	8.22	19		
		計	16,699.66	8.57	22		
	宅地計	179,231.42	91.99	507	128,902.00	66.16	
保留地		—	—	—	13,000.00	6.67	
測量増		1,582.01	0.81	—	0.00	0.00	
合計		194,846.84	100.00	596	194,846.84	100.00	

(ロ) 減歩率計算表

整理前宅地地積 (台帳地積) ①	同更正地積 (測量増減を 加減したもの) ②	整理後宅地地積		差引減歩地積		減歩率	
		保留地を含めた 宅地地積 ③	保留地を除いた 宅地地積 ④	公共減歩 地積 ⑤=②-③	公共保留地を合算 した減歩地積 ⑥=②-④	公共 減歩率 ⑤/②	公共保留地 合算減歩率 ⑥/②
m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	%	%
179,231.42	180,813.43	141,902.00	128,902.00	38,911.43	51,911.43	21.52	28.71

(5) 保留地の予定地積

整理前宅地価格 総額(予想) ⑦=②×⑪	整理後宅地価格 総額(予想) ⑧=③×⑩	宅地価格総額 の増加額 ⑨=⑧-⑦	整理後m ² 当たり 予定価格 ⑩	保留地として取り 得る最大地積 Rmax=⑨/⑩	保留地の 予定地積 R	割合 R/Rmax	摘要 (整理前単価) ⑪
千円	千円	千円	円/m ²	m ²	m ²	%	円/m ²
14,103,448	17,354,615	3,251,167	122,300	26,583.54	13,000	48.90	78,000

(6) 公共施設整備改善の方針

(イ) 首都圏整備計画との関連
近郊整備地帯

昭和41年5月30日(首都圏整備委員会告示第1号)

(ロ) 都市計画との関連

事		項	年 月 日	備 考
		市 街 化 区 域	平成 27 年 3 月 20 日	東京都告示第 473 号
地 域 地 区	用途地域	第 一 種 低 層 住 居 専 用 地 域	令和 2 年 1 2 月 2 4 日	あきる野市告示第 169 号
		第 一 種 中 高 層 住 居 専 用 地 域		
	第 二 種 中 高 層 住 居 専 用 地 域			
地 域 地 区	その他の地域地区	第 二 種 住 居 地 域	令和 2 年 1 2 月 2 4 日	あきる野市告示第 170 号
		近 隣 商 業 地 域		
		準 工 業 地 域		
地 域 地 区	その他の地域地区	第 一 種 高 度 地 区	令和 2 年 1 2 月 2 4 日	あきる野市告示第 171 号
		第 二 種 高 度 地 区		
		第 三 種 高 度 地 区		
都 市 施 設	道 路	秋多都市計画道路 3・4・13 号引田平井線 (幅員 18 m)	平成元年 6 月 16 日	東京都告示第 679 号
		秋多都市計画道路 3・4・18 号武蔵引田駅北口線 (幅員 16 m)	平成 27 年 3 月 20 日	あきる野市告示第 29 号
都 市 施 設	下 水 道	あ き る 野 市 公 共 下 水 道	平成 27 年 3 月 20 日	あきる野市告示第 30 号
市街地開発事業		秋多都市計画土地区画整理事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	平成 27 年 3 月 20 日	あきる野市告示第 28 号
地 区 計 画		武 蔵 引 田 駅 周 辺 地 区 地 区 計 画	令和 2 年 1 2 月 2 4 日	あきる野市告示第 172 号

(ハ) 都市計画道路の整備

秋多都市計画道路3・4・18号武蔵引田駅北口線(駅前広場2,940㎡(うち鉄道用地170㎡)を含む)は、幅員16m「歩道3.5m-車道9.0m-歩道3.5m」とし、歩車道アスファルト舗装(歩道一部インターロッキング舗装)で整備する。

秋多都市計画道路3・4・13号引田平井線は、幅員18~25.7m「歩道3.5m-車道(11.0m~18.7m)-歩道3.5m」とし、歩車道アスファルト舗装(歩道一部インターロッキング舗装)で整備する。

(ニ) 区画道路の整備

区画道路は、幅員12m「歩道2.5m-車道7.0m-歩道2.5m」とし、歩車道アスファルト舗装の東西補助幹線道路を整備する。産業系の土地利用を図る業務地は、幅員10m「車道7.0m-片側歩道3.0m(歩車道アスファルト舗装)」及び幅員9m「車道6.0-片側歩道3.0m(車道アスファルト舗装、歩道インターロッキング舗装)」並びに幅員8m「車道アスファルト舗装」で整備する。住宅地は、幅員6m「車道アスファルト舗装」で整備する。

(ホ) 特殊道路の整備

特殊道路は、幅員を4mとし、アスファルト舗装及びU型側溝で整備する。

(ヘ) 公園の整備

公園は、誘致距離を勘案し、公園3箇所を整備する。

(ト) 水路及び排水施設の整備

雨水排水施設は地区内の地形を考慮しその系統を整え、地区全域を対象に雨水浸透施設を整備する。

(チ) 公共施設整備計画

区分	名称番号	種別	形状寸法			整備計画	摘要	
			幅員 (m)	延長 (m)	面積 (㎡)			
道 路	幹 線 道 路	秋多都市計画道路 3・4・13号 引田平井線	18~ 25.7	371.4	8,083.49	『歩道 3.5m－車道(11.0m～18.7m)－歩道 3.5m』 一部平面で暫定整備する。(主線隅切部含む。) 車道：AS 舗装 歩道：AS 舗装、インターロッキング舗装	平成元年 6 月 16 日 東京都告示第 679 号	
		秋多都市計画道路 3・4・18号 武蔵引田駅北口線	◇	16.0	301.3	7,861.53	『歩道 3.5m－車道 9.0m－歩道 3.5m』 駅前広場 2,940 ㎡ (うち鉄道用地 170 ㎡) 含む 車道：AS 舗装 歩道：AS 舗装、インターロッキング舗装 電線共同溝	平成 27 年 3 月 20 日 東京都告示第 29 号
		小 計		672.7	15,945.02			
	区 画 道 路	幅員 12m		12.0	696.0	8,390.65	『歩道 2.5m－車道 7.0m－歩道 2.5m』 車道：AS 舗装 歩道：AS 舗装	
		幅員 10m		10.0	142.8	1,457.19	『車道 7.0m－片側歩道 3.0m』 車道：AS 舗装 歩道：AS 舗装	
		幅員 9 m		9.0	28.9	263.94	『車道 6.0m－片側歩道 3.0m』 車道：AS 舗装 歩道：インターロッキング舗装	
		幅員 8 m		8.0	100.3	819.50	『車道 8.0m』 車道：AS 舗装	
		幅員 6 m		6.0	3,322.6	20,149.70	『車道 6.0m』 車道：AS 舗装	
	小 計			4,290.6	31,080.98			

特殊道路	幅員 4 m	4.0	22.0	88.05	AS 舗装とし、U型側溝を設ける。	
	小 計		22.0	88.05		
	道 路 計		4,985.3	47,114.05		
公 園	1 号 公 園			1,030.10	外柵、植栽等を設ける。	
	2 号 公 園			1,400.18	外柵、植栽等を設ける。	
	3 号 公 園			3,570.51	外柵、植栽等を設ける。	
	公 園 計			6,000.79		
合 計				53,114.84		

(7) 土地区画整理法第2条第2項に規定する事業の概要

上水道及びガス管は、各事業管理者と協議し、道路計画に合わせて新設する。

2. 設計図

「別添図面のとおり」

第4 事業施行期間

平成28年3月7日から令和14年9月30日まで（清算期間を含む）

第5 資金計画書

1. 収入

区 分	金額 (千円)	摘 要
国 庫 補 助 金	1,166,081	交 付 金 1,166,081 千円 内訳 秋多都市計画道路 秋多都市計画道路 区画道路 3・4・13号, 3・4・18号(駅前広場含む), (補助幹線道路12m)
東 京 都 補 助 金	513,395	交付金都負担額 498,808 千円 内訳 秋多都市計画道路 秋多都市計画道路 3・4・13号, 3・4・18号(駅前広場含む) 無電柱化補助事業 14,587 千円
あ き る 野 市 負 担 金	4,113,668	市単独費
保 留 地 処 分 金	1,589,900	保留地単価 122,300 円/m ² × 13,000 m ²
合 計	7,383,044	

2. 支出

		事 項	単位	事業量	事業費 (千円)	摘 要
公共施設整備費	築造	都市計画道路	m	673	600,601	電線共同溝整備含む
		区画道路	m	4,291	638,820	
		特殊道路	m	22	1,909	
		道路計			1,241,330	
		公園施設費	m ²	6,001	180,917	
		雨水流出抑制施設費	m	559	202,935	
		計			1,625,182	
	移転	建物移転費	棟	108	2,049,611	
		立木農作物移転費			30,726	
		工作物等移設費			350,759	
		計			2,431,096	
	移設	電柱等移設費	式		27,129	
		電話電纜移設費	式		0	
上水道管移設費		m	693	85,927		

	計			113,056	
	公共施設整備費計			4,169,334	
法第2条第2項 該当事業費	上水道	m	5,118	240,330	
	ガス	m	6,415	111,507	
	計			351,837	
整地費	m ²	141,737	826,823		
工事雑費			145,150		
調査設計費			1,784,480		埋設文化財調査費含む
工事費計			7,277,624		
損失補償費			15,667		
補償費計			15,667		
借入金利子			0		
計			7,293,291		
事務費			89,753		
合計			7,383,044		

3. 年度別歳入歳出資金計画表

単位：千円

		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
歳 出	工 事 費	108,817	173,741	182,262	450,176	473,115	1,326,202	1,849,410	1,130,003	1,138,602	355,296	50,000	40,000	0
	補 償 費	0	0	0	0	0	0	1,787	5,900	4,290	3,690	0	0	0
	利 子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 費	4,179	4,111	6,291	5,648	11,522	9,528	9,546	11,054	11,054	8,171	5,766	2,383	100
	計	112,996	177,852	188,553	455,824	484,637	1,335,730	1,860,743	1,146,957	1,153,946	367,157	55,766	42,383	100

		令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	計
歳 出	工 事 費	0	0	0	0	7,277,624
	補 償 費	0	0	0	0	15,667
	利 子	0	0	0	0	0
	事 務 費	100	100	100	100	89,753
	計	100	100	100	100	7,383,044

単位：千円

		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
歳 入	国庫補助金	0	36,388	4,900	0	78,400	175,200	674,793	37,400	124,000	35,000	0	0	0
	東京都補助金	0	14,886	2,450	0	39,200	87,600	299,921	25,000	31,500	12,838	0	0	0
	あきる野市 負担金	112,996	126,578	181,203	455,824	367,037	1,052,739	619,398	711,787	476,578	△89,121	55,766	42,383	100
	保留地処分金	0	0	0	0	0	20,191	266,631	372,770	521,868	408,440	0	0	0
	計	112,996	177,852	188,553	455,824	484,637	1,335,730	1,860,743	1,146,957	1,153,946	367,157	55,766	42,383	100

		令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	計
歳 入	国庫補助金	0	0	0	0	1,166,081
	東京都補助金	0	0	0	0	513,395
	あきる野市 負担金	100	100	100	100	4,113,668
	保留地処分金	0	0	0	0	1,589,900
	計	100	100	100	100	7,383,044

あきる野市都市計画図

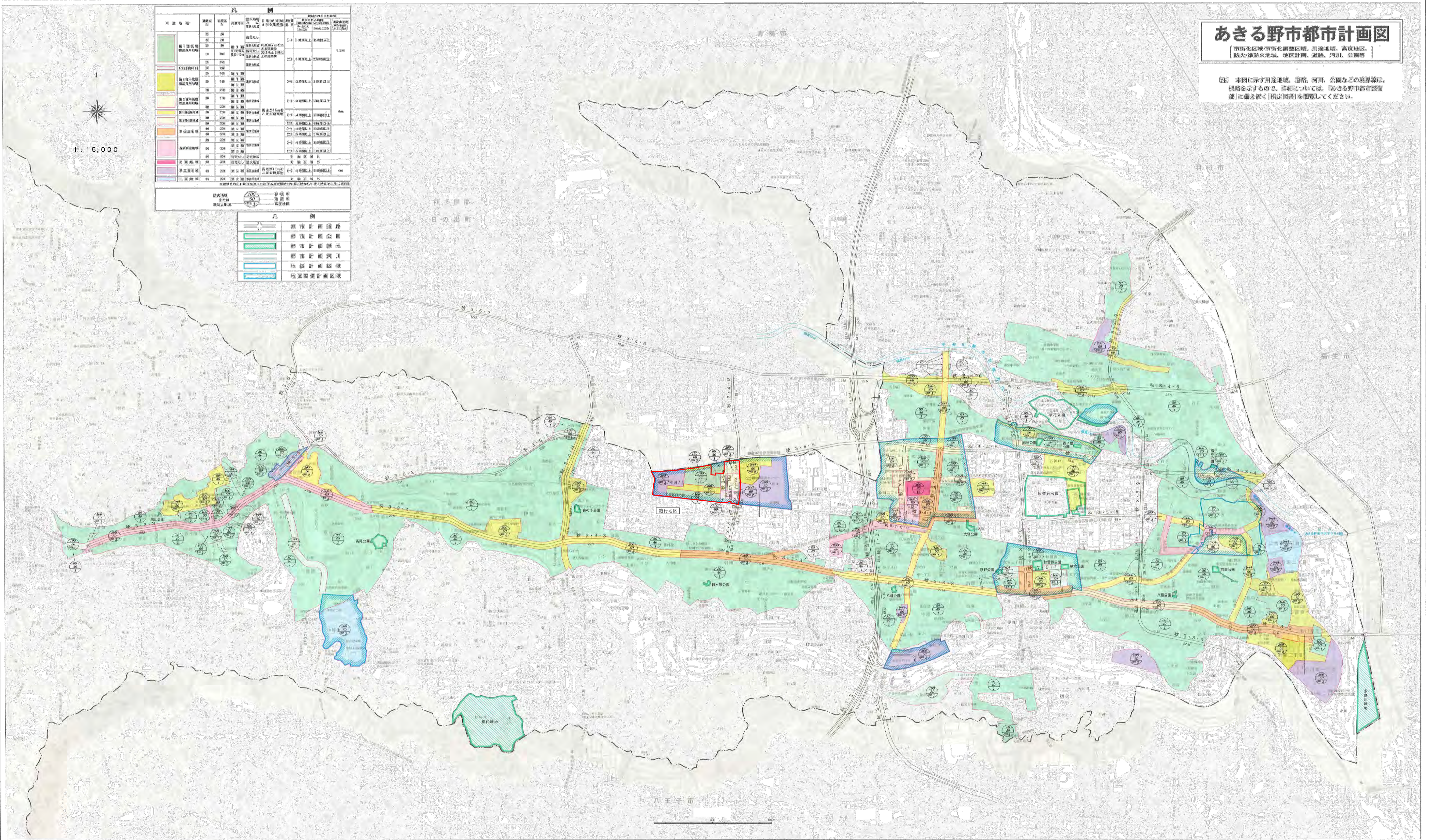
市街化区域・市街化調整区域、用途地域、高度地区、防火・準防火地域、地区計画、道路、河川、公園等

〔注〕 本図に示す用途地域、道路、河川、公園などの境界線は、概略を示すもので、詳細については、「あきる野市都市整備部」に備え置く「指定図書」を閲覧してください。

凡 例		例	
用途地域	種別	種別	種別
第一種低層住居専用地域	30 30	第一種低層住居専用地域	30 30
第二種低層住居専用地域	30 30	第二種低層住居専用地域	30 30
第一種中高層住居専用地域	30 100	第一種中高層住居専用地域	30 100
第二種中高層住居専用地域	30 100	第二種中高層住居専用地域	30 100
第一種住居地域	30 100	第一種住居地域	30 100
第二種住居地域	30 100	第二種住居地域	30 100
準住居地域	30 100	準住居地域	30 100
近隣商業地域	30 100	近隣商業地域	30 100
商業地域	30 100	商業地域	30 100
準工業地域	30 100	準工業地域	30 100
工業地域	30 100	工業地域	30 100

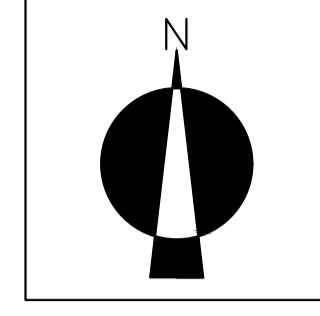
凡 例	
都市計画道路	都市計画道路
都市計画公園	都市計画公園
都市計画緑地	都市計画緑地
都市計画河川	都市計画河川
地区計画区域	地区計画区域
地区整備計画区域	地区整備計画区域

1 : 15,000

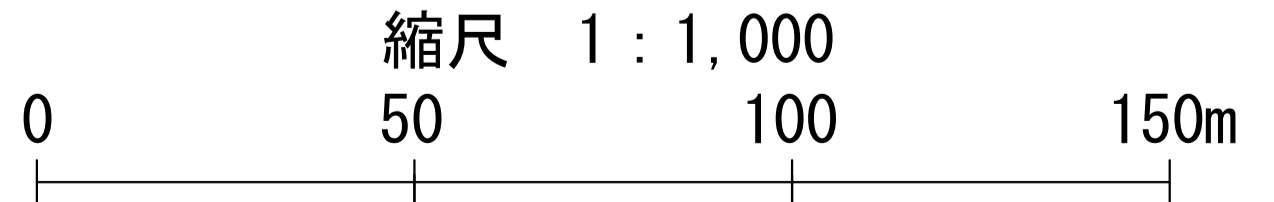


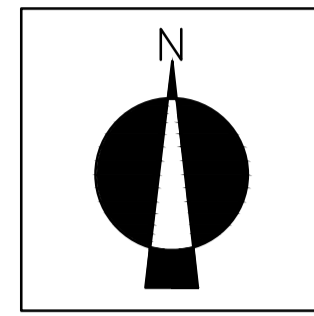
平成三十一年六月作成 令和三年一月更新版の図

秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業 区域図

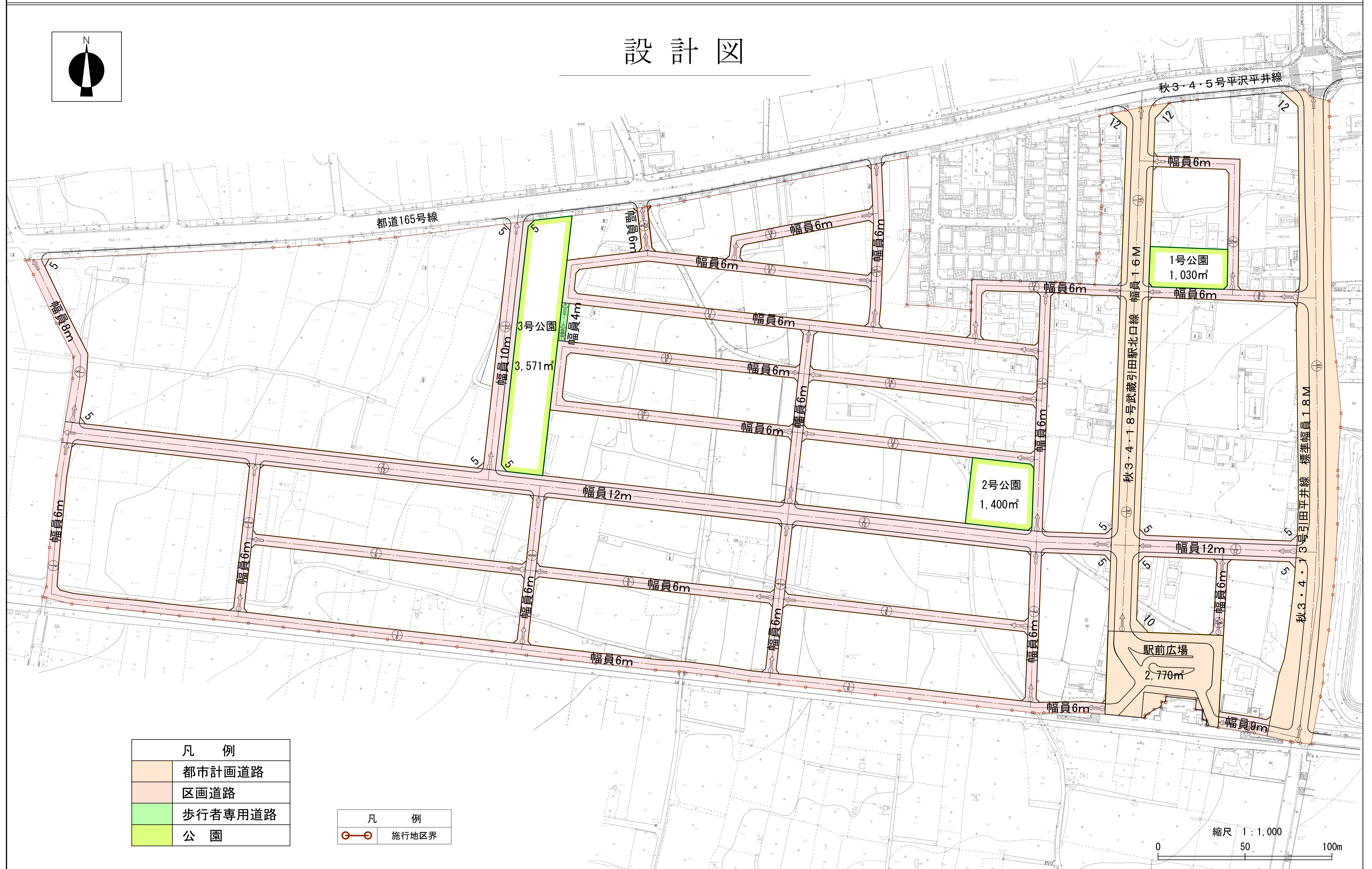


日の出町
平井
字三吉野桜木





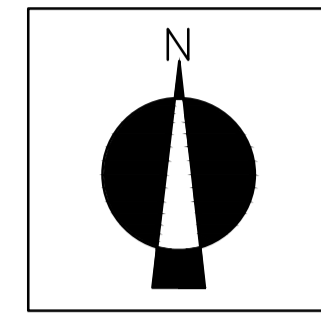
設計図



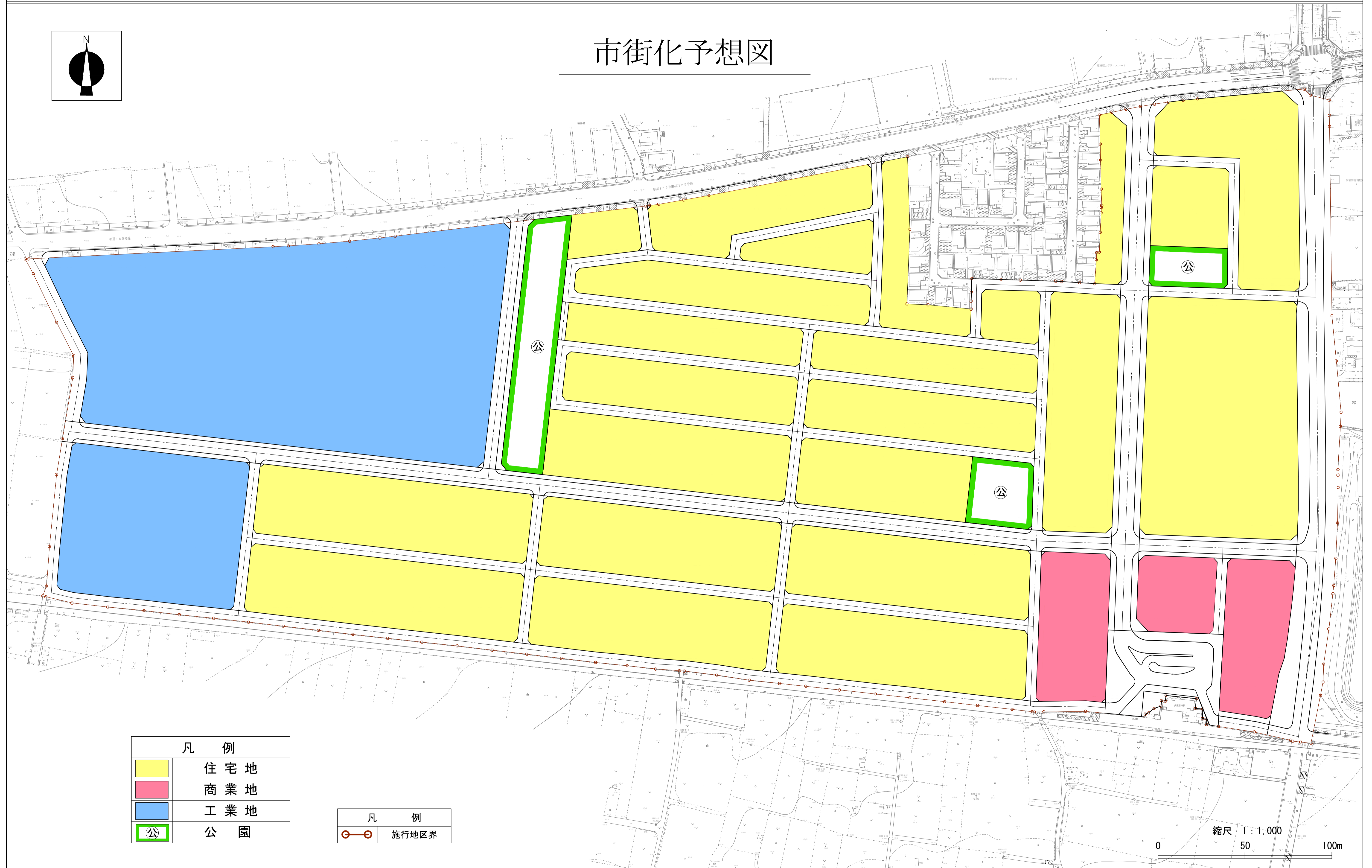
凡 例	
	都市計画道路
	区画道路
	歩行者専用道路
	公園

凡 例	
○	施行地区界

縮尺 1:1,000
0 50 100m



市街化予想図



凡 例	
	住宅地
	商業地
	工業地
	公園

凡 例	
	施行地区界

縮尺 1:1,000
0 50 100m